

WEEKLY BULLETIN

会報 2016-2017

1月5日(木) 第23号
第2816回例会
第2510地区

●本日のロータリーソング 君が代、四つのテスト

Rotary



アンケート経過報告 札幌東ロータリークラブ

クラブ奉仕委員長 井上 善博 会員

8月末に会員満足度調査を行いました。その分析が終わりましたので、ご報告させていただきます。札幌東RCは、10年未満の会員で半数を占めます。2012年7月1日現在では、121名63.5歳、2016年7月1日現在では、128名61.8歳とここ5年では若い世代の会員の入会が多くなり、平均年齢は下がっています。札幌東RCの会員としてプライドを持てる組織であるために、そして会員であることの価値の満足感を高めるために現状を把握し問題点があればそれを解決し、時代に合った組織を目指す目的で会員満足度アンケート調査を行いました。



本日のプログラム

年頭挨拶

白石 正勝 会長、関根 光晶 幹事

【会員満足度アンケート調査のまとめ】

アンケート調査の回収率は、RC歴3年以下で40.6%、4~10年以下で34.5%、11~20年以下で39.3%、21年以上は52.9%、平均で43.1%であった。

- 『クラブに受け入れられている』では94.3%が満足。
- 『組織としての現状』では「不満な点がある」が13.2%、「何事も当たり障りのない意見が通る」9.4%、「前例主義」が24.5%
- 『札幌東RCの会員である満足度』では満足若しくはほぼ満足が87%であったが「どちらとも言えない」が13%あった。
- 『札幌東RCの会員・例会・雰囲気』について、「例会は時間を費やす価値があるとは思わない」が7.5%、「新会員が直ぐに打ち解けるように配慮していると思わない」が29.4%（特にRC歴21年以上の会員）、「地元地域の職業/人口構成を反映していない」は55.1%であった。
- 『例会についての評価』中、職業ネットワークづくりについては24%が不満を感じている。
- 『RIや地区の提唱する活動の参加度合い』について「不十分・わからない」の回答がRC歴11年以上の会員に多い。

- 『札幌東RCの活動に対する自分の参加状況』は会員増強・会員のためのオリエンテーションと教育・地域への奉仕と国際的奉仕プロジェクト・クラブの広報活動への不参加の回答が目立つ。
- 『会員活動に関する費用』については概ね妥当の回答であった。
- 毎週の例会は90%の会員は楽しんでいる。
- 『札幌東RCの会合をより良いものとするため』にはどのRC歴の階層も、①より良い講話者、②プログラムのテーマの充実、③より多くの会員が活躍する機会を増やす事を指摘し、3年以内の会員は地域社会との交流・親睦活動をより強調・職業に関する情報を増やすこと・家族が参加する機会を増やすことを指摘している。
- RCと家族との関係について、会員であることに「誇りに思っている」が35.8%、「RCのことをよく知らない」の回答が39.6%あった。

以上のアンケート調査の結果から新加入の会員をはじめ、会員がロータリー理念を共有できるよう各委員会が横断的に連携し、叡智を結集してクラブ運営に結びつけたい。60周年に向けて会員一人ひとりがRCの参画意識を高め、充実感、連帯感を強め誇れる組織であるために札幌東RCプライド(活力と魅力)を確認し、意識の向上に貪欲に取り組み名実ともに模範となるRCを目指す。そのために年度後半に再度「クラブ活力テスト」などのアンケート調査を実施し、次年度の計画に提言できる資料を作成する予定である。

マン
スリー
メ
モ

ロータリー青少年交換とは、15~19歳の青少年が、最長1年間にわたり母国以外の国へ交換留学する機会を提供するRIのプログラムです。